

令和2(2020)年度 特別推進研究 審査結果の所見

研究課題名	分子性強等方性構造の化学構築と機能開拓
研究代表者	阿波賀 邦夫 (名古屋大学・理学研究科・教授)
研究期間	令和2(2020)年度～令和6(2024)年度
<p>科学研究費委員会 審査・評価第一部会 における所見</p>	<p><b>【課題の概要】</b> 本研究は、分子結晶や金属有機構造体などを用いることにより強等方性格子を有する物質を合成し、これに電気化学的バンドフィリング制御などにより強等方性格子のトポロジーに起因する様々な電子及び電気化学的機能を発現させるものである。</p> <p><b>【学術的意義、期待される研究成果等】</b> 強等方性格子をもつ物質は特異な電子構造を有しているため、学術的にも応用面においても重要な物質である。本研究は、強等方性格子をもつ多彩な分子性固体を自在に合成し、新たな電子機能を発現させる点で、学術的に高い意義がある。また、これらの物質がもつ巨大内部空間などの特異な構造を活用することにより、スーパーキャパシターや2次電池などの電気化学的機能が実現されることが期待される。</p>